

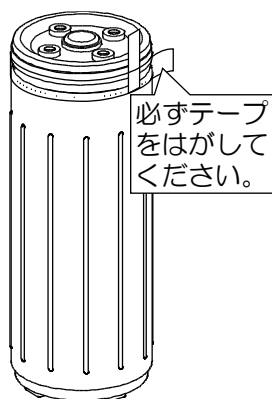
カートリッジの交換方法

適用機種：MW-402／MW-602

PRODUCED BY ACM

1. 以下の同梱されている6点を必ず確認してください。

① カートリッジ〔1コ〕



② 平ゴムパッキン〔1コ〕
(オーリングホルダー用)



③ オーリング〔1コ〕
(オーリングホルダー用)



④ 胴体用オーリング〔1コ〕



⑤ 交換年月日シール〔1枚〕



⑥ 残留塩素測定試薬
(1包1回分 5包入)



※水の検査用



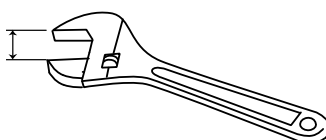
ご注意

残留塩素測定試薬および
残留塩素測定試薬の入った
水は、飲まないように
ご注意ください。

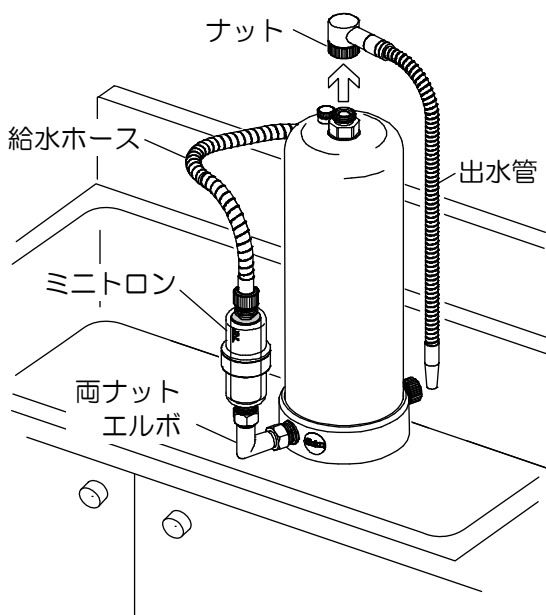
2. 必要な工具（ご準備ください）

26mm以上開くモンキーレンチ
をご準備ください。

26mm以上



3. カートリッジの交換方法



(1) 水道の蛇口を閉めてください。

(2) 本体を流し台のシンク内に入れてください。

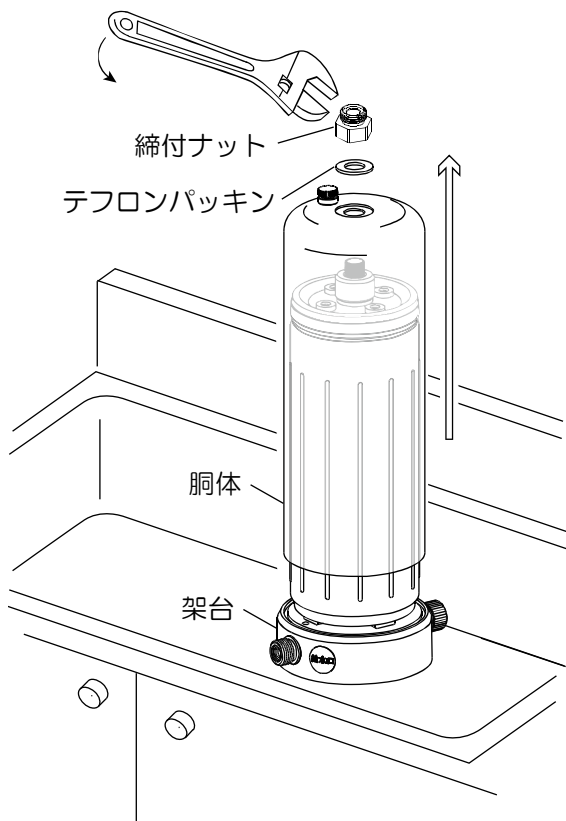
※ 作業上、給水ホース・ミニトロン・
両ナットエルボがジャマでなければ
付けたまま作業してください。

(3) 出水管のナットを左に回してゆるめ、
本体から取り外します。



ご注意

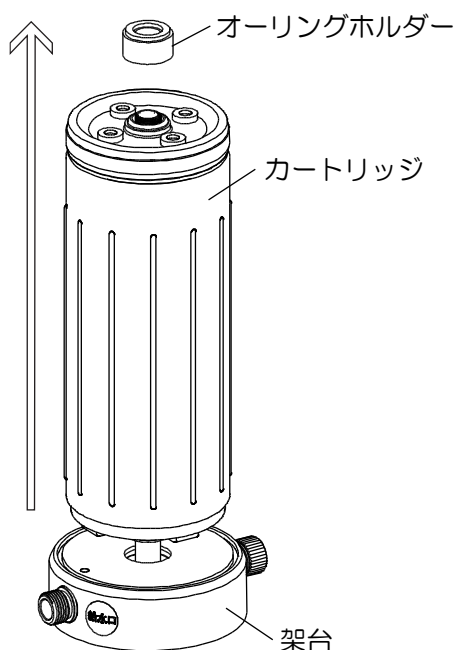
ナットをゆるめて取り外すと、出水管内の水が出ますので作業は流し台で行ってください。



- (4) 胴体上の締付ナットをレンチ等（モンキー）で左に回してゆるめて、取り外します。

⚠ ご注意 締付ナットをゆるめると、胴体と架台の間から水が出ますので作業は流し台で行ってください。

- (5) 胴体を持ち上げて外します。



- (6) オーリングホルダーを抜きます。

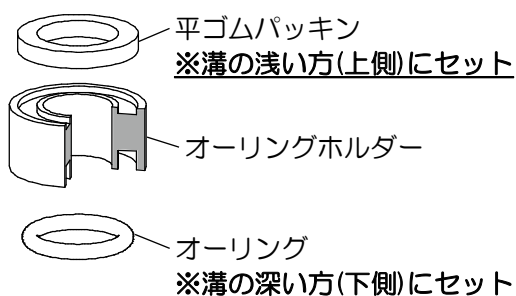
胴体の内側にオーリングホルダーが付く場合があります。そのときは、オーリングホルダーを横にズラすようにしながら取り外してください。

- (7) 架台を片手で押さえながら、カートリッジを抜き取ります。その際、取り外した部品等を水洗いしてください。

このとき、切替コックのレバーを原水またはシャワーにして蛇口を開くと水道水が出ます。
その水で部品等を水洗いします。

⚠ ご注意 洗剤は、中性洗剤をご使用ください。
部品劣化の恐れがあるため、その他の洗剤等のご使用は避けてください。

(8) 同梱のオーリング・パッキンを交換してください。



今付いているオーリングが外しにくい場合は、先の尖った物（安全ピン・針等）で外してください。

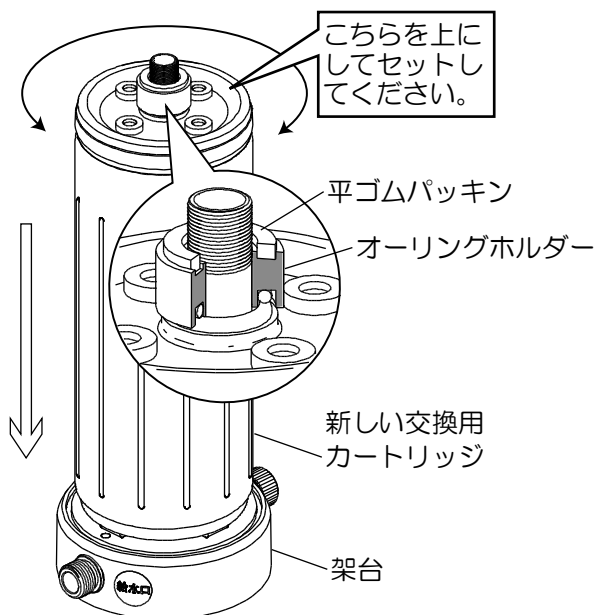
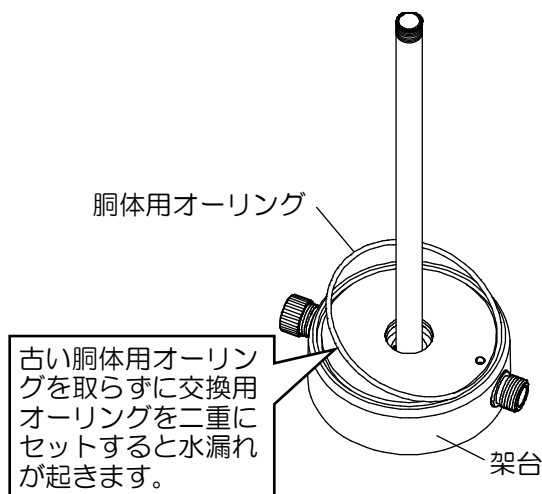
オーリングを外した溝の汚れ・水あか等を水洗いしてから、同梱の新しい物をセットしてください。

※平ゴムパッキン・オーリングが、オーリングホルダーの溝にしっかりセットされているか、必ず再度、ご確認ください。

- ① オーリングホルダーの上下の溝にセットされている平ゴムパッキン・オーリングの2点を交換してください。

※溝の浅い方（上側）に平ゴムパッキン、溝の深い方（下側）にオーリングをセットします。

- ② 架台溝の胴体用オーリングを交換してください。



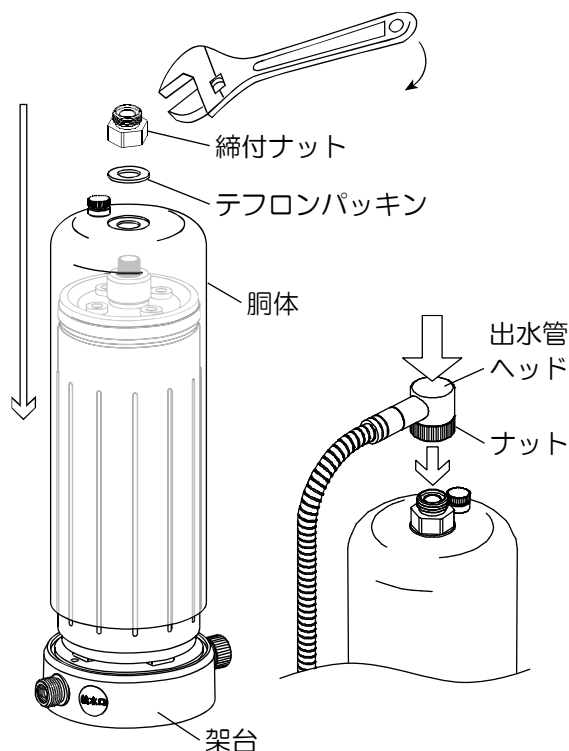
(9) 架台に交換用カートリッジを差し込みオーリングホルダーをセットします。

⚠ ご注意 カートリッジの上下を逆にセットすると胴体がセットできません。

このとき、カートリッジを左右に回しながら差し込むと容易に入ります。

※オーリングホルダーは、平ゴムパッキンを上側にしてセットしてください。

⚠ ご注意 オーリングホルダーを逆にセットすると浄水されません。



(10) 胴体・テフロンパッキンをセットしてレンチ等（モンキー）で締付ナットを締めて、出水管を取り付けます。

胴体の上にテフロンパッキンをセットしてください。

締め付ける目安は、締付ナットを徐々に締め付けて、胴体のガタツキが無くなってから、締付ナットを一周程度締めます。

⚠ ご注意 締付ナットに出水管ヘッドを上から押し付けながら、出水管のナットを右に回して取り付けてください。

(11) 使用する前にエア抜きを行います。

① 蛇口に取り付けた切替コックのレバーを浄水にして、蛇口を開きます。

(注) 蛇口を開けすぎるとエアが抜けた後、水が噴き出しますので、ご注意ください。

② エア抜きネジを左に1回転位回してください。

③ エア抜き部から水が出てきたらエア抜きネジを右に回して締めます。

(12) 出水管から水が出たら、蛇口を全開にして約2分間捨て水をしてください。

(注) 1 使いはじめに活性炭の黒い微粉が浄水に若干混入することがあります。そのときには微粉末が出なくなるまで（5分程度）通水してください。

(注) 2 出水管と切替コックの出水部分の水洗い（P6）を行ってください。

(13) 最後に水の検査（P6）を必ず行ってください。

※交換後のカートリッジは、お住まいの不燃物処分方法にしたがって処分してください。

修理を依頼される前に確認してください

こんなときは	もう一度確認してください	解 決 方 法	参照ページ
架台から水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換してください。	3ページ(8)
	架台の溝に胴体がしっかり入っていますか？	胴体が架台の溝にきちんと入っていない場合、水漏れの原因となります。確認してください。	
胴体が締まらない	カートリッジを上下逆に入れていますか？	取扱説明書に従い、上下を確認してください。	3ページ(9)
	現在使用している機種と交換カートリッジの機種は、同じ名称ですか？	機種の種類によってカートリッジの大きさが異なります。使用機種とカートリッジの名称が異なる場合は、ご購入先までお問い合わせください。	
胴体の上から水漏れする	胴体上の締付ナットの下にテフロンパッキンが入っていますか？ または、破損していませんか？	交換中にテフロンパッキンを紛失された可能性があります。確認してください。 また、亀裂等の破損が見られる場合にはご購入先までお問い合わせください。	4ページ(10)
塩素反応が出る	オーリングホルダーを入れ忘れていませんか？	オーリングホルダーの入れ忘れや上下が逆になっていると塩素漏れが起きますので、確認してください。	3ページ(9)
	オーリングホルダーを上下逆に入れていますか？		
	オーリングホルダー用の平ゴムパッキン、オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると塩素漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、新しいものと交換して、正しくセットしてください。	3ページ(8)
	給水口シールの貼ってあるネジに給水ホース類が接続されていますか？	架台の給水口にミニトロンおよび給水ホースを接続しないと、浄水できません。正しく付け直してください。	
出水管から水漏れする (蛇腹部分)		長期使用での劣化によるものと思われます。新しい出水管と交換してください。	
初回に浄水器から出る水が黒い (取付時)		初水に活性炭の黒い微粉が浄水に混入することがあります。 使いはじめの際は黒い水が透明になるまで通水してください。	4ページ(12) (注) 1

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

水の検査

これは、浄水された水が正常であるかを確認する検査です。

確認方法

1. コップに浄水後の水（約50cc）をとります。
2. 付属部品の残留塩素測定試薬を1袋加えます。
3. かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。
（判定は1分以内で行ってください。）

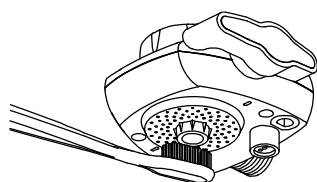
残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

※但し、1分以上おくと残留塩素が無い状態でも変色します。
ご注意ください。

《注意》

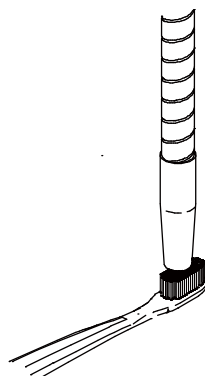
- 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
- 品質保持のため、袋はご使用直前に開封してください。
- 試薬が変色したものはご使用にならないでください。
（保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。）
- 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用ください。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないようにご注意ください。
- 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流してください。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談ください。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

快適にお使いいただくためのお手入れ方法です。



切替コック

1ヵ月に1～3回を目安に出水部分を
潔なハブラシ等を使い水を出しながら
汚れを落とします。



出水管

1ヵ月に1～3回
を目安に水を出し
ながら汚れを落と
してください。

塩素が取り除かれた水が出る出水管は汚れたハブラシ等で洗うと出水口に
雑菌が付着・繁殖する事があるので、清潔なハブラシ等をお使いください。

ご使用上の注意

- (1) 流し台の下及び水道直結型にはなりません。
- (2) 浄水出口には、バルブ等を一切使用しないでください。
- (3) 使用水圧（動水圧）0.35MPa 以内でご使用ください。
- (4) 凍りつく恐れのある場合は、ご使用できません。
- (5) 井戸水等に使用される場合は、必ずご相談ください。
- (6) 製氷器・湯沸かし器等には、連結しないでください。
- (7) ご使用は、水（飲料水適合）だけにしてください。お湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますのでご注意願います。
（誤っての短時間の通水であれば問題ありません。）
- (8) 朝、最初に使う場合は、約45秒間捨て水をしてください。
2～3日使用されなかった場合は、約2分間位捨て水をしてください。
- (9) 金魚や熱帯魚には使用しないでください。
 - ・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
 - ・カートリッジの寿命付近はカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合魚が死んでしまう恐れがあるため。
- (10) 水の検査用残留塩素測定試薬は、劇物ですのでお子様の手の届かないところに保管願います。また、水の検査終了後のコップ等はよく洗ってください。
- (11) 出水管の先端および切替コックの出水部は1ヵ月に1～3回を目安に、水洗い（P6）を行ってください。
- (12) 使用水にミネラル分が多く含まれている場合、給水ホースの内面にミネラル分が付着蓄積し、蓄積物がはがれて原水に混入することでカートリッジの寿命が短くなるのを予防するために、給水ホースは5年毎の交換（有償）を推奨します。

■製造元

株式会社 エイ・シー・エム

〒130-0026 東京都墨田区両国 4-8-10 MYSビル 3F